参考資料:「監査の全体像に照らした本件事案における監査上の不備」

職業的懐疑心の欠如

①監査のスタートポイントである被監査会社のビジネスの理解が正しくない。

②ビジネスの理解が正しくないため、適用される財務報告の枠組みの理解も正しくない。

③ビジネスの理解も適用される財務報告の枠組みも間違っているため、重要な虚偽表示リスクの識別も正しくない。

④そのため、不正リスクの識別も不正シナリオの検討も的外れとなっている。

⑤リスク評価に失敗しているため、立案したリスク対応手続が本来のリスクに対応していない。

⑥本来のリスクに対応した手続が立案されていないため、実施された対応手続も不十分なものとなっている。

監査契約の締結及び更新

新規締結の場合のみ

初年度監査における追加的な考慮事項

監査契約の変更に関する検討

監査契約の解除に関する検討

【監査の基本的な方針】

グループ監査の方針

スケジュール

重要性の決定

グループ監査チーム等の編成

構成単位の監査人の監査チーム等の編成

相互に密接に関連

【詳細な監査計画】

【リスク評価手続】

リスク評価手続の実施

① 企業及び企業環境の理解

② 適用される財務報告の枠組みの理解

関連当事者との関係等に伴う重要な虚偽表示リスクの識別

会計上の見積りに関する重要な虚偽表示リスクの識別と固有リスクの評価

財務諸表監査における法令の検討

継続企業の前提

専門家の業務の利用

内部監査人の作業の利用

全社的な内部統制の理解

全社レベルの決算・財務報告プロセスに係る内部統制の理解

委託業務

③ 不正による重要な虚偽表示リスクの識別

不正による重要な虚偽表示を示唆する状況の識別

③ 重要な虚偽表示リスクの識別と固有リスクの評価

④ 不正シナリオの検討

財務諸表全体レベル

財務諸表全体レベルのリスクへの全般的な対応の立案

リスク評価

全般的対応

アサーション・レベル

⑤ アサーション・レベルのリスク評価・リスク対応手続の立案

リスク評価

リスク対応

⑤ 重要な虚偽表示リスクへの対応手続の立案

リスク評価

リスク対応

影響

業務プロセスに係る内部統制の評価

整備状況

運用状況※

IT環境の理解

IT全般統制の評価

整備状況

運用状況

【リスク対応手続の立案】

⑤ 実証手続の立案（一般）

実証手続の立案（決算・財務報告プロセス）

経営者による内部統制の無効化に関係したリスク対応手続の立案

仕訳テストの立案

⑤ アサーション・レベルの不正による重要な虚偽表示リスクへの対応

不正による重要な虚偽表示の疑義への対応

企業が作成した情報の検討

会計上の見積りに関する重要な虚偽表示リスクへの対応

監査上の主要な検討事項の決定と監査上の対応の立案

⑥ リスク対応手続の実施

追加手続の要否

Yes

No

監査結果の取りまとめへ

監査意見の形成

監査計画の更新及び重要な変更

監査の最終段階の分析的手続

監査の過程で識別した虚偽表示の評価

経営者とのコミュニケーション
監査役等とのコミュニケーション

監査チームメンバーへの指揮、監督及び作業の査閲
グループ監査人内のコミュニケーション
構成単位の監査人とのコミュニケーション

職業倫理に関する規定の遵守状況の評価

（注）
本件事案の理解のため、監査の全体像の中で、不備があった個所について色付き網掛けを記載しています。

色の違いはこの事案における不備の大きさ、重さを表しています。

重大

↑

↓

低